

広報・教育部門

応募事例名

ヤギを活用したレトロな S D G s 除草を導入

～「メエメエ」明和町から楽しくサステナブルな処理場を P R ！！～

応募団体名）群馬県邑楽郡明和町

応募事例の概要

- ヤギによる S D G s 除草を導入することで、処理場が抱える問題を解決し、下水道のイメージを向上！
人の手を介さないサステナブルな除草方法を確認！（除草区域2,000m²）
- 除草ヤギさんのメエメエ式（命名式）を開催し、明和除草隊を結成！ S D G s 活動に住民を巻き込むことで、楽しみながら環境教育活動を実施！下水道が持つ循環型社会を形成する役割を紹介！！

応募事例の内容

＜いままでの課題＞

- 処理場は汚泥の匂いやそのイメージにより、迷惑施設として嫌煙されがち・・・
- 近年の人件費高騰、猛暑による熱中症リスクが発生・・・



見学に合わせてふれあい体験を実施



除草前



除草後



小学生の処理場見学の様子



処理場でのメエメエ式(命名式)を開催
明和ヤギ除草隊を発足！

P R ポイント

- 処理場内は敷地内に柵があるため、放牧に最適でした。放牧後はせっせと雑草を食べてくれるため、除草の手間を削減できました。
- ヤギの糞は処理場の土に戻るため、掃除も不要で飼育しやすいです。
- エサ代等の飼料費はかからないため、除草委託費用を削減できました。

取組の効果

- 令和6年度は6ヶ月のヤギ除草で機械運転・集草運搬・焼却で発生するCO₂を40.5kg削減できました。（杉の木3本分の植樹効果と同等）
- 下水道への接続促進、イメージ向上のため、お祭りへのブース参加、福祉施設やこども園での出張除草イベントなど、ヤギとふれあう機会を提供しました。楽しみながら下水道への興味、愛着をもってもらいました。

取組に関するエピソード

- 事業の経済的観点や先進性について、NHKや新聞社5社等、各種マスコミ及び主要紙が活動内容を取り上げてくれました。群馬県からは、その取組み内容により、公営企業として初の S D G s 先進事例取組事業体に選定されました。他の自治体からの視察要望もありました。
- 初期投資抑制のため、行政職員が直営でヤギ小屋を作成しました。ヤギも気に入ったようです。ヤギはいきものため、病気やストレスがないよう可愛がって飼育しました。
- 生活に欠かせない、愛される下水道の発展・理解促進に向けて、今後とも新規取組を加速していきます。



都市建設課 係長代理
芝田 明典